

風が気持ち良い季節になりました。校内では文化祭の準備が始まっています。部活動で販売する商品の価格を決めている生徒たちが「だから損益分岐点がさあ！」とか「固定費がこれくらいじゃん？」と熱く語っている姿に Y 校生の気概を見て、たのもしく感じています。商業科目に縁のないクラスの生徒にはチンプンカンプンの会話だったようですが、せっかく Y 校にいますので『ラクしてわかる簿記入門』(336 夕) から楽しい商業の世界をのぞいてみませんか。

司書

📖 第34回 読書感想画コンクール 📖

夏休みの読書感想文に続き、「読書感想画コンクール」の募集が始まりました。読書の感動を絵画で表現してみたら、新しい世界が広がるかもしれません。

本は指定図書から選んでも、好きな本でもよく、一人で指定図書・自由図書それぞれ各一点ずつ両方に応募することも可能です。校内の締め切りは **12月16日** です。詳細は美術科の志村先生または司書までどうぞ。

【指定図書】

- 森川成美『はなの街オペラ』(913.6 モ)
- 河邊徹『蛍と月の真ん中で』(913.6 カ)
- ベン・デイヴィス『ぼくたちのスープ運動』(933 デ)
- 小坂康之・林公代『さばの缶づめ、宇宙へいく』(667 コ)
- スザンヌ・スレード『火星は…』(絵本 E ス)

📖 洋書の POP! 📖

昨年度に引き続き、1年7組の皆さんが「プラクティカル・イングリッシュ I」の授業で取り組んだ「洋書の POP」を図書館内に掲示しています。かわいいイラストとともに作品や登場人物が丁寧に紹介されていたり、仕掛けの扉がついていたり、どの POP もとても素敵で、紹介された本にも興味が湧きます。

館内に所蔵がある作品の本も近くに並べましたので、ぜひ手にとってみてください。



□ 図書室・図書館が登場する本 □

小説を読んでいると、学校の図書室や街の図書館がよく登場します。図書館は何か起きそうな場所なのではないでしょうか。Y校の図書館でも、日々何かしら楽しい話や幸せな話が舞い込んできます。今回は図書室や図書館が舞台となっている本を集めてみました。



○米澤穂信『本と鍵の季節』 (913.6 ヨ)

二人の男子高校生が学校生活に降りかかる問題を解決するミステリーです。本のタイトルや分類記号など、図書委員としての知識を使いながら謎を解いてゆく二人の空気感もほどよくて、爽やかだけれどちょっとほろ苦いような、高校生に読みやすい小説です。

○相沢沙呼『教室に並んだ背表紙』 (913.6 ア)

学校生活の中で、複雑な想いを抱えた生徒たちが主人公の短編小説集です。自分もこんなことで悩んだことがある、と共感できそうな話ばかりで、中高生くらいの頃の卑屈だった自分を思い出しながら読んでいてちょっと切なくなりましたが、読後はサッパリします。本があって良かった、と思う気持ちをあらためて感じられる、そんな一冊です。

○瀬尾まいこ『図書館の神様』 (913.6 セ)

バレー部の顧問になりたくて教師になったのに、任されたのは部員が1名しかいない文芸部。文学にまったく興味なく、図書館にも縁がなかったはずなのに、大人びた部員との部活動（主に本を読むこと）を通して変わっていく主人公の姿が描かれています。この小説のなかで話題にあがる本がどれも面白そうで、つい読みたくなります。私も山本周五郎の「さぶ」『山本周五郎全集 第13巻』に収録（913.6 ヤ書庫）を読みました。

○青山美智子『お探し物は図書館まで』 (913.6 ア)

小学校に併設されたコミュニティハウスの中の図書室に勤務する司書が、何気なくおすすめする数冊の本と、本とともに手渡す羊毛フェルトで作られたマスコットで人々の心を癒していく、あったかい気持ちになれるお話です。この本で羊毛フェルトにも興味が湧いたら trois M『羊毛フェルト基礎 BOOK』(594 ト) もどうぞ。

○有川浩『図書館戦争』 (913.6 ア)

映画化、アニメ化、マンガ化…など、多くのメディアに展開された作品です。「図書館の自由に関する宣言」という、本当の「図書館法」に基づいた法定から着想を得たストーリーはドキドキの連続です。アクションシーンも楽しいですが、なんととってもキュンキュンするシーンがおススメです。

そのほかにも図書館・図書室がでてくる本がたくさんあります。秋の夜長の読書にどうぞ。

○山本渚『吉野北高校図書委員会』 (B913.6 ヤ)

○大橋崇行『司書のお仕事 お探しの本は何ですか?』 (007 オ)

○住野よる『麦本三步の好きなもの』 (913.6 ス)

○竹内真『図書室のバシラドール』 (B913.6 タ)

○門井慶喜『おさがしの本は』 (913.6 カ)

○名取佐和子『図書室のはこぶね』 (913.6 ナ)

○辻村深月『図書室で暮らしたい』 (914 ツ)

○デイブ・クレッグ『ページマスターリチャードの図書館大冒険』 (絵本 E ク)

○ジャネット・ウィンター『バスラの図書館員—イラクで本当にあった話—』 (絵本 E ウ)



Y校は今年140周年



□ 小論文対策に □

三年生の進路にかかわる大きな試験が佳境を迎え、多くの生徒が参考書や小論文対策、面接対策などの本を求めて図書館に訪れます。ただ、蔵書には限りがあり、せっかく来てくれたのに貸し出せる本がない、ということがあります。そんなときは皆さんが持っている「国語便覧」や「社会科の資料集」をおすすめしています。たとえば3年生の小論文対策なら国語便覧の404ページ「小論文道場」で、論文の基礎からタイプ別の書き方のポイントなどを詳しく解説しています。小論文の本一冊を手にするのは躊躇してしまうという方でも、便覧の数ページなら気軽に見ることができそうです。社会問題のキーワードとなる語句の説明なども、社会科の資料集に丁寧にわかりやすく程よいボリュームで掲載されています。ぜひ、お手元の資料も活用してみてください。

□ 今月のおすすめ本 □

○熊谷 はるか『JK、インドで常識ぶっ壊される』(292ク)

高校入学を目前に控え、インドに家族の転勤で引っ越すことになり、憧れのJK生活はどんなっちゃうの？

そんな不安も驚きも楽しさも喜びも恐怖も全部、女子高生の目線でストレートに描いた、ちょっと衝撃的で、高校生のみならずにも興味深い話が満載の本です。インドで暮らすという、誰もができるものではない貴重な経験を、「出版甲子園」という「手持ちの企画を本という形にするためのプレゼンバトル」で勝ち抜いて「本」にした出版に至る経緯も斬新です。この本を読んで影響を受けたY校生が、いつか本を出していたらもっと面白い！そんな日が来ることをひそかに期待します。

～図書委員会からのお知らせ～

図書委員のおすすめの本を並べた新コーナーができました。



「怖い話」「食欲の秋」「スポーツの秋」の本を紹介しました。

どれも本当に怖くて、美味しそうで、楽しそうな本ばかりです。

ぜひ図書室まで足をはこんでみてください!!

👤 図書委員長 👤

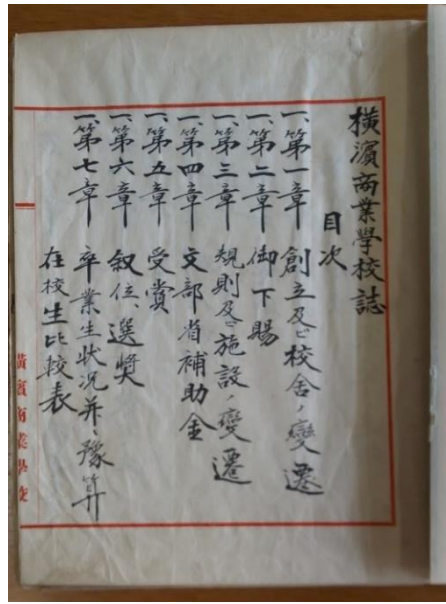
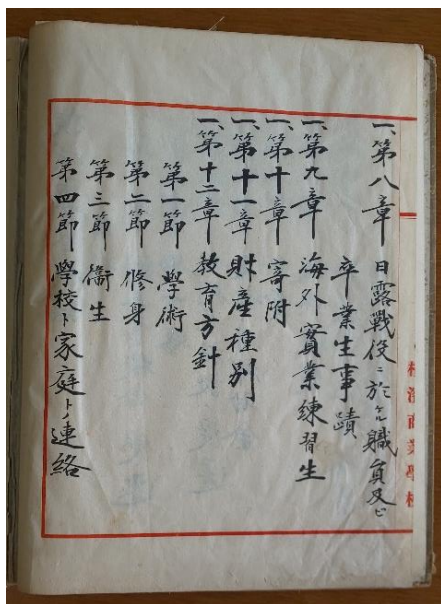
Y校アーカイブ vol. 12 「横濱商業學校誌」

今回のY校アーカイブは、Y校30周年時に作られた「横濱商業學校誌」です。明治15年(1882年)の設立から明治45年(7月より大正元年)(1912年)までの30年間の記録です。布張りの表紙に紐で綴じられています。紐は劣化してしまったのか結び目が無い状態です。同様の装丁の「横濱商業學校誌附録」には紐も残っています。大きさは縦30cm、横25cm、厚さは3cmほどあります。附録の厚さは2cmです。第一章の「創立及び校舎の変遷」に始まり、第十二章の「教育方針」まで、目次以下74ページにわたり、Y校の30年間の記録が美しい手書きの文字で原稿用紙にしたためられています。各章には薄紙で守られながら挟み込まれた写真が全部で20点あり、当時の様子をうかがい知ることができます。



横濱商業學校誌附録

横濱商業學校誌



目次



左は明治22年築、右奥は明治31年築の校舎



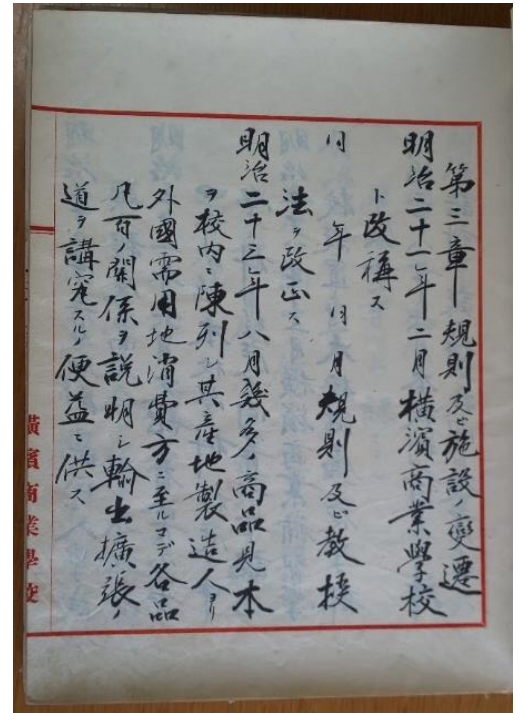
明治45年当時(明治38年築)の校舎
背景には清水ヶ丘が見られます

第三章「規則及び施設の変遷」に「商品陳列室」の写真がありました。

「明治二十三年八月幾多の商品見本を校内に陳列しその産地製造人より外国需用地消費方に至るまで各品おおよそ百の関係を説明し、輸出拡張の道を購究するの便益に供す」とあります。現在Y字棟4階にある「商品実験室」にその名残が見られます。



商品陳列室



規則及び施設の変遷

附録には、学校で使用している出席簿や試験問題用紙などの書類の様式が綴じられています。裏表紙には生徒手帳がすっぽりと収められていました。

